

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書 13 章 22～30 節＞

1 先週の個所の内容は、神の国は大きく成長し膨れるだったの？！

今日の個所を読むと「神の国に入るのは難しそう」と思うかもしれませんが、先週読んだ直前の個所(18-21)の内容「神の国は大きく成長し膨れる」との関係はどう考えたらいいのでしょうか。

2 ポイント① イエス様は十字架に向かって行っておられるのに(22)。

ここを読む時に一つ大事なことは、この時、イエス様は私たちの罪を贖うために十字架にかかるためにエルサレムに向かっておられるのだということです(22 節に注目)。このことを考え出すなら、その時、「神の国に入れるか」の問いに対する考え方も違ってくるでしょう。

3 ポイント② 戸が閉まってからでは遅い(25)。

もう一つ読み間違えてはならないのは、イエス様はただ「入ろうとしても入れない人が多い」(24)と言われているのではなく、「主人が戸を閉めてしまってからでは遅い」(25)と言われているのです。問題は、ではその人たちはそれまで何をしていたのかということです。

4 ポイント③ (不義) 不正を行い続けるなら入れてもらえない(27)。

イエス様はそれについてもはっきり言われています、不義を行い続けていたのです(27)。不義と訳されている元のギリシア語は、不正・不法・不公平等を意味する語です。イエス様は、「私と出会い、私がどのような者か知ったのに(26)、なお不正な行為を続けているなら、神様は訝し(いぶかし)がられる」とおっしゃっているのです。27 節は「悪を行う者よ、皆わたしを離れよ」という言葉が出て来る詩編 6 編(9 節)が参考になります。他者を苦しめ続ける者のことが言われています。

5 ポイント④ 福音は、神の国が全ての人に開かれていること(29)！

今日の個所をまとめます。やはり福音が語られているのです。なぜなら、神様はまだ戸を閉めてはおられないからです。「聖書の神様は赦しの神様だからしたい放題しよう」、それは違いますね。それでは十字架で死んで下さったイエス様をあまりに考えなさ過ぎる。このイエス様を与えて下さった神様の赦しの恵みを思うなら、不正・不法・不公平から離れて生きようとし出すはずですし、それがまた私たちの新しい生きる目的を与えてくれるのです。神様は私たちが悔い改めるのを待って下さっているのであり(Ⅱペトロ 3:9)、まだ戸を開けて下さっているので。全ての人に救いの戸が開かれている今が入る時なのです！